



真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

新年のご挨拶 病院長 前田正存



皆様、いかがお過ごしでしょうか。平成30年最初のご挨拶となります。

今年の冬は、昨年の11月初めより冷え始め、「地球温暖化はいい話だ」と言う寒さです。その後、少し寒さが緩んだ時もありましたが、依然として厳しい寒さが続いております。

今年もインフルエンザが昨年より猛威を振るっているようです。ただ、今年はA型のインフルエンザが最初に流行しシーズン終盤の2月頃よりB型のインフルエンザが流行する例年と異なり、A型とB型が同時に流行しております。一度インフルエンザに罹って、別の型のインフルエンザウイルスにまた罹ることも考えられます。予防(ワクチン接種・手洗い・うがい・マスク)に十分気を配って下さい。

幸いなことに慈英病院内では、入院中の患者様からのインフルエンザ発症は、現時点では0名です。おかげ様で患者家族の面会禁止などの制限をしなくて済んでおります。

これは、昨年も書きましたが、「院内での感染防止の取り組み」や「ご家族の方にも無料でマスクを配布して感染防止に努めた」ことが効果を現していると考えております。

政府が、急性期と回復期の患者は病院でしっかりケアするが、慢性期の病状が安定した患者は在宅で療養することを基本方針としました。(ただし、「在宅」と言っても現在住んでいる「我が家」だけでなく、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設や各種の有料老人ホームなども政府は在宅とみなしております。)

政府の方針どおりに在宅で介護していこうとしても、介護現場の労働の特殊性や責任の割には低い賃金などにより、介護現場から去る職員も多くなっております。また、募集をかけても集まらないなど、「介護現場の人手不足」も顕著になってきております。現実に高齢者を介護する事業所の閉鎖も宮崎で起こっております。

政府の具体的方針として、医療機関、介護施設、在宅系サービス事業所が連携して、できるだけ長く住み慣れた地域で暮らしていける「地域包括ケアシステム」を構築しようとしております。

しかし、独居や老老介護が増えてきている現実、近所に介護してくれる家族が全くいない高齢者もかなりの数になります。そこに介護現場の人手不足を考えると「自宅」での介護は困難になっていくと思われま

す。そして、介護が必要な高齢者を全て預かるだけのベッドの数は存在しません。(病院のベッド数は都道府県の許可制になっていて勝手に増やせないため。)比較的重度な介護を必要とする高齢者を優先し、軽度から中程度の人は、自宅で工夫して頑張るしかないと思

います。このような現実を考えると、当院も入院の患者様に力を尽くすのは当然のこと、自宅で頑張っている患者様にも様々なサービス(必要な行政サービスの説明や介護に役立つ情報など)をお届けできるように努力していくつもりです。

患者様やご家族の希望に十分答えられない面もあろうかと思われま

すが、あきらめることなく少しでも出来ることをやり続けていこうと思っております。

これからも、「真心を込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指す。」という理念に恥じないように頑張っていきたいと思

います。
今年もよろしくお願いいたします。

各部署の紹介・挨拶

看護部



真心込めた医療を心がけ、患者様に満足して頂けるよう職員一同努めてまいります。

リハビリテーション科



身体機能回復に向けて、3職種協力してリハビリを行っています。患者様の笑顔のために一緒に頑張っていきたいです。

地域医療連携室



患者様の入院・退院が円滑進むよう日々研鑽していきます。

栄養給食科



食事を通して患者様に元気をお届けします。元日はご覧のお節料理を食べていただきました。

薬剤部



入院・外来患者様のお薬はお任せください。ていねいな説明で、しっかり理解してもらおうよう心がけています

事務課



いつも明るく笑顔を忘れないよう、そして、懇切丁寧な対応を心がけています。

放射線検査室



迅速で正確な検査を目標に頑張っていきたいです。

デイケア室

在宅生活を意識したケアに努めてまいります。今年度も元気を、お配りしたいと思います。



病棟 Xmas コンサート & 通所リハビリ Xmas 会

病棟



昨年 12 月にクリスマス会が開催されました。多くの患者様や家族の方に参加していただき誠にありがとうございました。歌手のキリンさんをゲストに迎え、沢山の歌を披露されました。多くの感動もありました！次回のイベントもお楽しみに！！

通所リハビリ



高洲保育園より、園児の踊りの披露がありました。



可愛い園児の踊りに、利用者は拍手喝采。



美味しい料理を前に、乾杯をしました。



参加者全員で記念撮影。楽しい一日になりました。

第 6 回 健康教室「在宅を意識した食べ物・食べ方」

11月18日(土)、出来島・高洲コミュニティセンターにて第6回健康教室「在宅を意識した食べ物・食べ方」を開催しました。前半は管理栄養士による、高齢者の食と栄養～日本人の食事摂取基準について～。後半は、トロミ剤を体験・食べやすい調理方法の実演をしました。参加者は、熱心に話を聞き、体験・実演では、積極的に質問もされていました。第7回をお楽しみにお待ち下さい。



管理栄養士によるお話



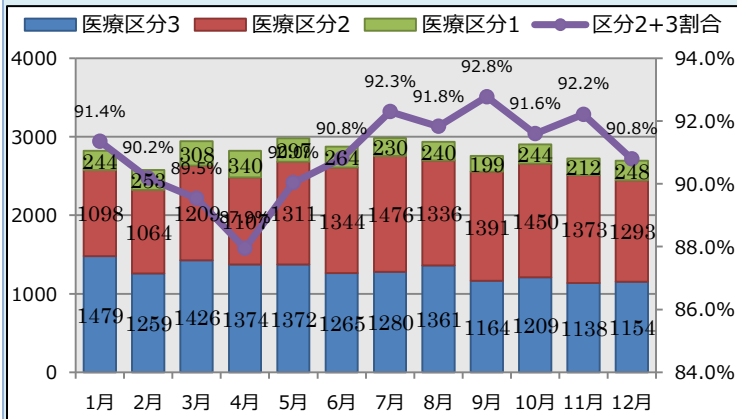
皆様、熱心に聞いています



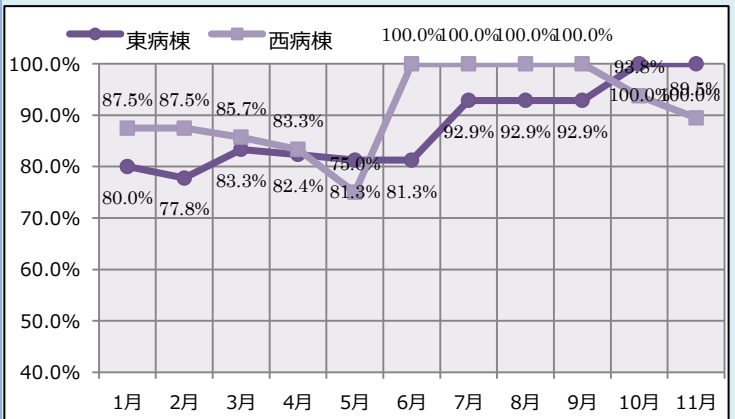
調理師の調理方法の実演

クリニカルインディケーター 2017年(平成29年)

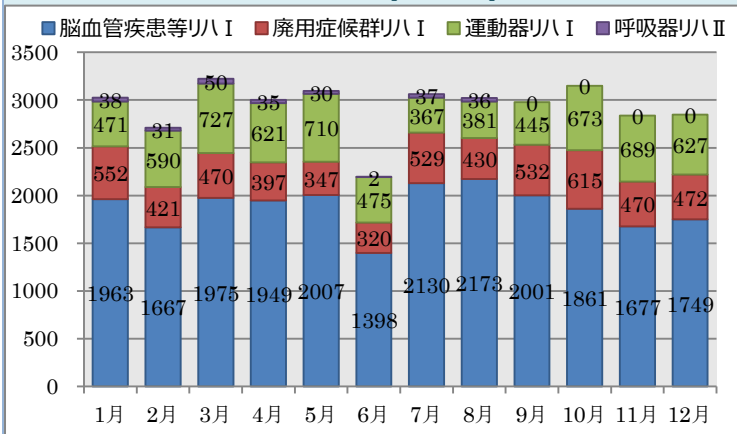
医療区分別入院患者数<平成 29年>



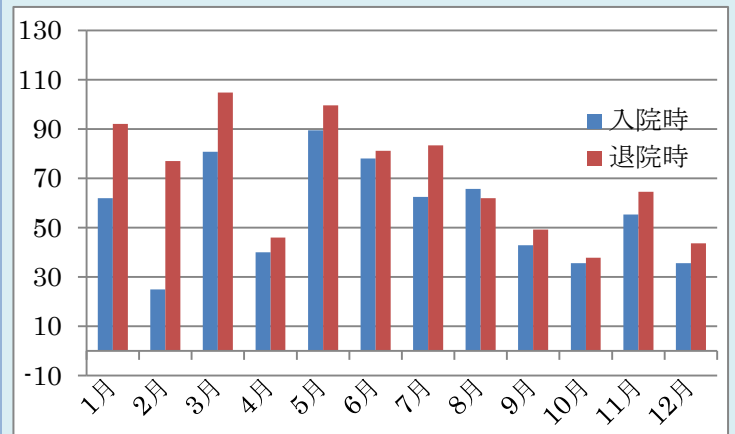
在宅復帰率<平成 29年>



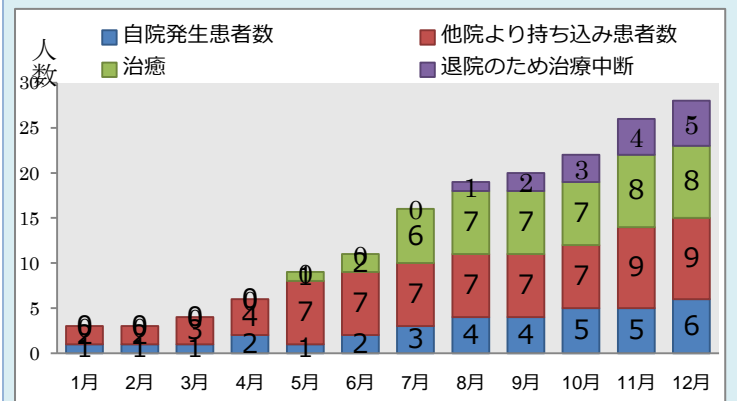
リハビリテーション実施状況(単位数)<平成 29年>



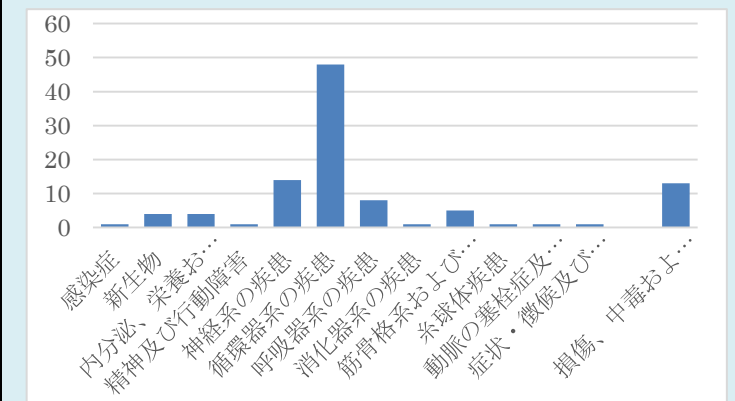
軽快退院患者の平均 FIM 改善値<平成 29年>



褥瘡を有する患者数&治癒数<平成 29年>



疾患を大分類に置き換えた場合の状況<平成 29年>



医療法人社団 栄正



慈英病院

診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
 〒880-0853 宮崎市中西町 160 番地
 TE0985-23-5000 FAX 0985-23-5886
 URL : <http://www.jiei.jp>

編集委員

江藤裕子 東洋一
 上原庸平 中村峻介
 荒竹浩和 仲田由加
 黒松和子 大岩根良太
 酒井晃 石田美由紀
 平野達也 松本めぐみ